

日本共産党札幌市議会議員 2017年2・3月号 池田ゆみ 市政事務所だより

発行：池田ゆみ市政事務所 〒061-0904 豊平区豊平4条10丁目2-13高木ビル1階 TEL 818-8367



第4回定例市議会報告



アスベスト問題を追求する池田市議

入学準備金の早期支給などただす アスベスト問題、

第4回定例市議会は、昨年11月29日から12月13日の会期で開催されました。池田ゆみ市議は、文教委員会で小中学校のアスベスト問題などを追及しました。

重要と認識しながら

調査費要求せず

市教育委員会は、文科省から2014年と16年の二度に渡り煙突用断熱材の点検を指示されながら「問題なし」と虚偽の報告をしていました。池田市議は「14年にアスベストの除去や飛散防止措置が義務化された。その際の文科省の指示を市は『重要と認識していた』というが、それならなぜ今年度予算で調査費を

要求しなかつたのか」と迫りました。本居学校施設担当部長は「重要性の認識はあつたが組織内で共有されていなかつた」と答えました。

どれだけ飛散したか 実証実験求める

代表質問では、日本共産党を代表して田中啓介市議が「2006年に実施した調査で、53の小中学校で異常を認めながら、ボイラーを運転しており、10年間、アスベストが飛散し続けていた可能性がある。市民の健康を守る立場から、どれだけ飛散していたか、専門家の意見も聞

きながら実証実験をすべき」と迫りました。吉岡副市長は、実証試験について「断熱材が剥離した状況を厳密に再現することは困難」と述べ、「今後、アスベスト飛散の可能性などについて専門家の意見も聞いて検証していく」と答えました。

生活保護・就学援助世帯にも給食費返還を

市は、アスベスト問題で給食が停止されていた間の給食費を返還することとしましたが、文教委員会で池田市議は、「給食費が免除されている生活保護世帯や、就学援助世帯でも、その間弁当を持たせるなどして経費がかかっている」として、同様に返還を行うことを求めました。

通常国会で、安倍首相は施政方針演説の中で社会保障費の自然増を「来年度予算においても、5千億円に抑えることができた」と誇っています。

こんにちは！
池田ゆみです。



その後、68の小中学校で新たに、アスベストを含む煙突断熱材が劣化していることが明らかとなりました。市教育委員会はこれらのボイラー停止や煙突の新設などの措置を当面見送るとしていますが、早急な対応こそ必要です。

該当する豊平区の学校は、小学校：豊園、旭、南月寒、平岸高台、みどり、福住 中学校：八条、東月寒 の各校です。

守れ！雇用

札幌市においても2月21日から予算議会が始まります。市民生活が苦しくなっている実態を示し、「暮らし・雇用守れ」の立場で全力で頑張ります。応援よろしくお願ひいたします。

中学校

入学準備金3月支給に

今まで、入学準備金は6月に支給されていました。

これでは制服の購入など間に合いません。党市議団は定例議会の中で、入学前の3月に支給するよう求めきましたが、中学校については今年から3月に支給されることとなりました。

しかし、小学校について

学準備金の支給総額は昨年で4100万円、小学生への入学準備金も入学式に間に合うよう支給を」との求めに、長岡教育長は、「時期的な課題があることから、今後その可能性について検討していく」と答えました。

区民要求について交渉

「豊平区民の要求を実現する連絡会」は昨年11月16日、豊平区役所において、44項目に渡る要望について、豊平区との交渉（懇談）を行いました。連絡会からは31名が参加、提出した要望について実現を求めました。

市民の願いとのギャップ大

「中学生まで、子どもの医療費無料化を」との要望に対して「平成30年に小学1年生まで」の回答に、参加者からは「市民の願いとのギャップが大きすぎる。もつと早く進めることが求められました。

介護保険の総合事業移行

今年4月から介護保険の一部が、市の総合事業に移行する問題について、変更点の説明を求めましたが、まだ制度の詳細が決まっていないということで、決まりしやすい周知するとの回答に留りました。

介護報酬が減らされ、事

池田市議は「民間での対応もあると言うが、地元に増設されるとは限らない。地元にある保育園をなくすのではなく、その場での建て替えを」と訴えました。

廃止でなく建て替えを

保育園の整備計画のもとで、豊園乳児保育園、豊園保育園が建物の老朽化により廃止が予定されていることに対して、「助産師をしている娘が出産予定だが、子どもをあずけるところがない」、「ガンの治療をしたい」という人がいるが、子どもをあずけるところがないなど、保育園が少ない現状が訴えられました。

「豊平区民の要求を実現する連絡会」は11月21日、札幌市長宛に平岸自衛隊病院跡地を取得し、市民のために使うことを求める要書を提出しました。

まちづくり政策局の浦田洋局長が対応、「人口減少期に入り、現在は用途を定めないで土地を取得することはしていない。具体的にこうした施設が必要で、そのための土地として必要ということが出てこないと、土地取得は難しい」としました。



平岸自衛隊病院跡地について要望書提出

お困りごとはありませんか？

池田ゆみ市政事務所では、生活相談を行っています。また、「法律事務所」にご協力いただき、月1回の法律相談会も行っています。どなたでも受けられます。一人で悩まずお電話下さい。

2月、3月は16日(木)午後2時から弁護士が対応します（無料です）

場所：池田ゆみ市政事務所
豊平4条10丁目2-13 高木ビル1階
予約が必要です。電話 818-8367へ

池田ゆみ市議は、アンケート結果などを示しながら、「冬期にお年寄りが体を動かせる施設がほとんどない。室内パークゴルフ場をという声もある」と語り、要望の実現を求めました。